

<p style="text-align: center;">令和3年度 第3回岡崎市行財政調査会 会議録 (※新型コロナウイルス感染症対策として書面会議で開催)</p>	
開催日時	令和4年2月25日(金) ※書面表決日
開催場所	—
委員	青木鉄彦、岩田香織、岩月幹雄、加藤雄一郎、遠田琳夏、播元公昭、三浦哲司、三浦美知子、横山深雪、米津眞
事務局	—
会議次第	議題1 行財政調査会報告書(案)について 議題2 行財政改革推進計画に基づく今年度の取組について
傍聴者	—
議事要旨	<p>議題1 行財政調査会報告書(案)について</p> <p>○事務局からの説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 行財政調査会報告書(案) 委員の2年間の任期における活動をまとめた報告書を作成しました。 1ページは、「はじめに」ということで、我が国の経済状況、本市を取り巻く財政状況と行政課題、報告書の主旨等を記載しています。 2ページ及び3ページは、「審議経過」ということで、2年間の会議の議題と審議内容をまとめています。 4ページから6ページは、「意見内容」ということで、2年間の会議において、本市の行財政改革大綱及び推進計画に関わる議題に対して発言された主な意見をまとめています。 7ページは「委員名簿」です。 ・委員への依頼事項 行財政調査会報告書は、行財政調査会で御確認をいただいた後、市ホームページ等で公表します。 今回お送りしたものは現時点での案ですが、この内容で公表に向けて執り進めてよろしいか、別紙2「書面表決書」に御意見を御記入ください。資料の内容について疑義や御質問等がございましたら、合わせて書面表決書に御記入ください。 <p>書面表決の結果</p> <p>委員全員から、「資料を確認し、資料の内容及び今後の進め方について承認します。」という回答をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員個別意見 <p>(岩田委員) 資料1の、 ①1ページ「はじめに」の2行目「このところ」について、表現が少し引っ</p>

掛かりましたので、削除でもよいかと思います。
②同じく9行目「平成32年度」は、令和2年度の方がよいのではないかと思います。

(事務局回答)

岩田委員の御意見のとおり訂正いたします。

(播元委員)

令和3年度第2回及び第3回行財政調査会の意見内容については、資料1への記載は不要という認識でよろしいでしょうか。

(事務局回答)

資料1の4～6ページに記載した「意見内容」は、行財政改革大綱及び推進計画に関する御意見に特化した内容としています。令和3年度第2回及び第3回行財政調査会は、大綱及び推進計画以外の議題についての意見交換だったため、資料1への掲載は割愛しています。

(三浦哲司委員)

資料1に関する意見ではなく、行財政改革全般に関する意見ですが、AIやDXが進んでも、住民説明会のような業務はどうしても残るため、今後の自治体職員にはいっそうコミュニケーション能力の向上が求められると、学術研究では指摘されています。コミュニケーション能力が低い人が現状で担当している業務は、早晚AIに置き換わるので、そうした人の行先や活用策をどうするかを検討が必要です。

(事務局回答)

三浦委員の御意見を踏まえ、行財政改革を推進してまいります。なお、本市では「市民参加型市政」を推進しています。市民参加型市政を実現するためには、御指摘のとおり、職員のコミュニケーション能力の向上が必要と考えます。そのため、情報発信力向上(具体的にはHPやチラシ等の見やすさ・分かりやすさ向上の手法の習得)を目的とした研修や、市民参加の場づくり・雰囲気作り・意見集約の具体的手法を習得することを目的としたファシリテーション研修等を令和4年度に実施する予定です。

(横山委員)

2年間を振り返ると、コロナ禍の影響もあり、活動できなかったことが多かったと思います。書面でのやり取りはスムーズですが、簡易的な印象があります。チャットワークを使うなど別の方法もあったのではないかと思います。

(事務局回答)

新型コロナウイルス感染症の影響により、会議が急遽書面会議に変更されるなど、委員の皆様には御迷惑をおかけいたしました。今後は、Web会議システムの利用も検討いたします。

(米津委員)

資料1に誤字及び分かりにくい表現がありますので、訂正案を記載します。

①3ページ

(現行) 老朽化を始めたとした
(訂正案) 老朽化を始めとした

② 4 ページ

(現行) 今までと同じ予算で業務を実施できないことを職員全員が理解し、変わらなければ受け入れないくらいの覚悟で予算を作ることが必要である。

(訂正案) 今までと同じ予算要求はできないことを職員全員が理解し、変わらなければ業務が実施できないとの覚悟で予算を作ることが必要である。

③ 4 ページ

(現行) 組織があるから組織のことを一生懸命にやろうとするので、組織を失くすことによって選択とシュリンクができるのではないか。

(訂正案) 組織があるから組織を維持する業務に専念する。組織を整理することで選択とシュリンクができるのではないか。

(事務局回答)

米津委員の御意見のとおり訂正いたします。

議題 2 令和 4 年度以降の行財政調査会の活動内容について

(事務局からの説明要旨)

- ・資料 2 令和 4 年度以降の行財政調査会活動 (案)

現在の委員の任期においては、新しい行財政改革大綱及び推進計画の策定について意見を述べていただくことが活動のメインとなっております。

令和 4 年度以降は、大綱及び推進計画の進捗管理に活動の力点が移ってまいりますので、資料のとおり、一連の進捗管理サイクルの確立に取り組むことを提案します。

- ・委員への依頼事項

資料 2 を御確認いただき、令和 4 年度以降の行財政調査会の活動について、この内容で執り進めてよろしいか、別紙 2 「書面表決書」に御意見を御記入ください。

書面表決の結果

委員全員から、「資料を確認し、資料の内容及び今後の進め方について承認します。」という回答をいただいた。

- ・委員個別意見

(三浦哲司委員)

岡崎市の他の附属機関は Zoom で開催され、オンラインでも十分にやり取りができました。新型コロナウイルスの感染状況など、場合によっては来年度のヒアリングや意見交換はオンラインでの開催でもよいのかなと思います。

(横山委員)

今後もコロナ禍の影響はまた考えられますので、この 2 年間のよう活動が縮小してしまうことのないように、会議方法についても検討していただきたいと思います。

(事務局回答)

両委員の御意見を踏まえまして、今後は Web 会議システムの利用も検討いたします。

(米津委員)

「市民参加型市政の推進」、「公共施設に係る諸課題とその対策」及び「岡崎市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」については、行財政改革の重要な事項であるので、進捗状況等を知らせていただきたいです。

(事務局回答)

米津委員の御意見も踏まえ、来年度以降の重点取組を選定いたします。